

我孫子市中学校部活動地域移行に向けて ～合唱部の活動について紹介～

1 我孫子市の現状

市内中学校6校中2校で合唱部が活動しています。小学校では3校の合唱部が活動しています。それぞれ、市内小中学校音楽発表会やコンクールなどに参加しています。また、各中学校では特設合唱団を結成する場合があります、参加を希望する生徒が部活動以外の時間に集まり練習して、市内小中学校音楽発表会に参加しています。

中学校では学級対抗の伝統的な校内合唱コンクールがあり、各学級が意欲的に練習してコンクールに臨んでいます。校内合唱コンクールの行事を通じて、各中学校では合唱活動に積極的に取り組む生徒の姿が見られます。

吹奏楽部同様、令和2年度からは新型コロナウイルス感染症防止対策の関係で思うような活動が実施できませんでしたが、感染対策に配慮しながら昨年度より徐々に以前の活動内容に戻りつつあります。

なお、合唱部の演奏形態としては女声合唱中心で、ここ数年は部員数も以前に比べて少なくなっています。校内合唱コンクールでは混声合唱で各学級が日ごろの練習の成果を競っています。部活動以外の地域の活動として、合唱に興味がある生徒が自由に参加できる受け皿が存在すると大編成による混声合唱の取り組みが実現するものとも考えます。

2 合唱部の活動について

現在、部活動ガイドラインに従って平日及び休日に活動を実施しています。

(1) 主な活動内容

①基礎練習（体力づくり等含む）

- ・腹筋・背筋、腹式呼吸の練習など
- ・発声練習（豊かな響きのある歌声を目指すなど）
- ・教則本等を活用して歌唱技術の習得・向上、ハーモニー練習

②合唱曲の練習

- ・担当パートの楽譜の旋律が歌えるように譜読み（音取り）練習（各自で練習したりパートで練習したりする）
- ・パート別練習（譜読み（音取り）終了後にパートごとに練習）

③合唱練習

- ・「②」で練習した成果や課題の確認
- ・すべてのパートが集まって合唱練習

(曲の完成に向け練習を行い、成果や課題を確認し、「②」の練習時間にさらなる向上を目指して改善していく)

※ 「③合奏練習」については、比較的活動時間が確保できる活動日に設定されることが多く、限られた時間での活動日は「①・②」の活動内容が中心となることがあります。楽器の準備時間が必要ないので、吹奏楽部よりも活動時間の長短にかかわらず柔軟に練習内容を工夫できます。

(2) 講師(外部指導者)による指導

子どもたちの歌唱技術の向上や顧問の指導力向上のため各学校の実情や判断に講師を招聘し専門家による指導を受ける場合もあります。

①歌唱技術の習得・向上のために

- ・発声(ボイストレーニング)の専門家を招聘
(子ども一人一人の実態に応じて指導いただく)

②曲の完成へ向け指導・助言をいただくために

- ・合唱練習が中心
- ・各パートのバランスの調整などの助言
(より豊かな音楽表現や目指す演奏の実現に向け指導いただく)

※ 現在、白山中学校へ部活動指導員が配置されています。成果を踏まえ、他校への配置拡大に結び付くとさらに充実した活動が実現するものと考えます。

※ 現在は、少人数による活動が中心となってきたので、合同部活動や地域クラブ活動で大編成による合唱活動の経験を自校に持ち帰り活動に生かすこともできるものと考えます。

(3) 活動費用(予算)

①収入

- ・学校からの部活動運営費
- ・部費(保護者から徴収、学校により金額判断)

②主な支出

- ・楽譜の購入
- ・講師謝金

※ 市内小中学校音楽発表会やコンクール参加等の交通費については、けやき号を含め主に公費です。